

比企の歴史まるわかり！ 9市町村広報リレー

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」比企市町村推進協議会広報リレー企画、
3月は鳩山町です。鳩山町でのゆかりの史跡等をご紹介します。
問合せ：鳩山町役場政策財政課 ☎049-296-1212

鳩山町版



は～とも
大河仕様♪

鳩山町でのゆかりの地

「笛吹峠」と「鎌倉街道」



嵐山町との境にある道沿いに、笛吹峠について説明している掲示板が設置されています。

■笛吹峠（鎌倉街道上道）

鳩山町須江と嵐山町將軍沢との間にある峠で、鎌倉街道上道の難所の1つです。鎌倉から上野（群馬県）に通じる鎌倉街道の要衝にあたり、多くの武士団が行き来しました。武蔵武士にとってこの道はまさに「いざ鎌倉」の道だったようです。

「史跡笛吹峠」の碑に面した、鎌倉街道と推定される道の東にある山道は、直線的で掘割状の形状であることから、この道が上道であるとの説もあります。

いざ鎌倉！

■鳩山町内に残る鎌倉街道の名残り ～比企一族に思いを馳せて～

町内には、かつて「鎌倉街道」と呼ばれ、鎌倉（神奈川県）に通ずる一筋の道が走っていました。今も道筋に残る海道端・海道端沼・大道など、街道にまつわる地名がその名残りをとどめています。

この街道は、古代から交通路として利用されていたとの説もあり、鎌倉時代になると、幕府の所在地である鎌倉と、関東各地をはじめ、信濃・越後・奥州の国々とを結ぶ重要な交通路となりました。普段は静かなこの街道も、ひとたび戦いが起ると、甲冑に身を固めた武蔵武士の団が鎌倉を目指し、あわただしく馬を走らせたことでしょう。

その後、この街道は、戦国時代の終わりごろまで利用されましたが、江戸時代になり、五街道が整備されると、しだいに利用されなくなり、やがて廃道となってしまいました。

鎌倉街道は、現在の県道ときがわ坂戸線や県道東松山坂戸線に近い場所を通っていたとされています。今宿コミュニティセンターを出発点に、県道を北上し、笛吹峠まで歩くことで、当時の人たちとほぼ同じルートを辿ることができます。皆さんも、比企一族への思いを馳せながら、旧鎌倉街道を辿るウォーキングをしてみたいはいかがですか。



現在の鳩山中学校グラウンド端に、鎌倉街道を説明している掲示板が設置されています。



現在の赤沼内に「廻国供養塔」と呼ばれる道標を兼ねた石塔があります。

4月は源頼朝（初代鎌倉殿）から篤い信仰を受けた慈光寺のある、ときがわ町です。



3月
から

企業・団体・個人事業主のみなさまへ

雑誌スポンサーを募集します！

～図書館の雑誌カバーに広告を出しませんか～

地域の企業等に情報発信の場を提供するとともに、図書館運営経費を効率的に運用し図書館サービスの向上を図ることを目的として、3月1日(火)から嵐山町立図書館雑誌スポンサー制度を開始します。

雑誌スポンサー制度とは

図書館閲覧用雑誌の購入代金を負担していただくかわりに、雑誌最新号カバーの表紙・雑誌が置いてある棚にスポンサー名を表示します。更に、カバーの裏表紙にはスポンサー広告を表示することもできます（四半期毎に変更可）。

応募資格

・「嵐山町立図書館雑誌スポンサー制度実施要綱」に基づく、企業その他の団体または個人事業主の方。

対象雑誌

・図書館が作成した「雑誌リスト」からお選びいただけます（複数選択可）。
・希望が重なった場合は、申込み先着順とさせていただきます。

申込みについて

・申込みは随時受け付けます。

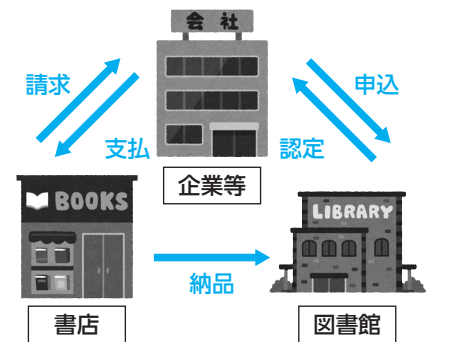
※内容・申込用紙等の詳細は、「嵐山町立図書館雑誌スポンサー制度実施要綱」をご覧ください。図書館ホームページに掲載しています。

問合せ・申込先

知識の森嵐山町立図書館 〒355-0216 嵐山町むさし台3-10-10 電話62-6989

※3月7日(月)まで工事休館ですが、平日9時～17時の間、対応しています。

制度のイメージ図



雑誌に
スポンサー名
と広告を表示！



図書館の今後の取組み

小学校における英語必修化や、国際共通語としての英語力の向上が求められる今日、「英語絵本の読み聞かせ」の実施を検討しています。考えが柔軟な子どもたちのうちから英語や異文化に親しむことで、多様な文化を理解し寛容な心を育むことにつながると考えています。

コロナ禍における新たな図書館のあり方として、「電子図書館」の広域導入を近隣図書館と協議・検討しています。電子図書館は感染予防に有効な非来館型サービスです。また、いつでもどこでもインターネットを通じて電子書籍の検索、貸出、返却ができるだけでなく、音声読み上げ機能や文字サイズ拡大機能により読書困難者や高齢者の方にも気軽に本を閲覧できるサービスといえます。

これら検討中の事業は、実施の見込みとなり次第、詳細を広報、ホームページ等でお知らせします。

新型コロナウイルスは依然、終息が見えない状況であることから、図書館としては、引き続き感染対策を講じて参ります。機械による検温、手指の消毒等々、みなさまには、安心・安全に図書館をご利用いただけるよう、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。